

学長・学校長 様  
算数・数学担当者 様  
保護者・学生・研究者 様

# 東北地区数学教育協議会研究大会（岩手大会）

東北地区数学教育協議会  
委員長 川村 昌広

1951年4月に設立された「数学教育協議会」は、子どもたちが楽しく主体的に学びながら、深く理解し、確かな力が育まれる算数・数学の授業をめざして、実践と研究を進めてきました。その実践は、昨今注目される対話的で深い学びが随所に見られ、それら成果は現在の多くの教科書の内容に反映されています。これも69年に渡る日本全国の熱心な教員や研究者・保護者が、実践を持ち寄って交流・討議し学び合ってきた成果です。

さて、COVID-19をきっかけに、私たちの生活が大きく変わるといわれています。実際に、就業の仕方や生活の習慣には変化が見られ、それが今後のスタンダードになるかもしれません。学校教育も授業や学校行事のあり方が大きく問われています。特に、オンライン授業には注目が集まり、新しい授業形態に多くの意見が出ています。同時に、こうした新しい授業を通して授業の本質が見え、その不易流行を捉える機会ともなっています。今年の研究大会は、コロナ禍の中の集まりにくい状況ではありますが、オンライン授業に関する討議を中心に、これからの授業を考える場になりたいと考えています。

## テーマ 『子ども・生徒とつくる楽しい授業』

～ 数学の本質をつく対話的な授業で深い理解へ ～

1 日時 2020（令和2）年11月28日（土）

2 会場 岩手大学教育学部

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番8号

3 主催 東北地区数学教育協議会

4 日程

22日（日）

	10:45	11:00	11:45	12:45	13:45	15:00	15:45
受付	記念講演 銀林浩先生の 残したもの 伊藤潤一 先生	昼食	全体会 レポート検討 岩澤一郎(中) 長内康平(高)		分科会 小学校 中学校 高校		東北数教協 総会

※ 今回は1日のみの日程で行います。

5 記念講演

## 『銀林浩先生の残したもの～明日の数教協のために～』

講師 伊藤 潤一 氏

数教協の創成期の頃から会の活動を支えてきた元委員長の銀林浩先生が8月18日に他界されました。今、改めて彼の残したものを振り返り、今後の私たちの実践に生かすことが求められています。銀林先生のエピソードを交えながら、明日の数教協の展望を語ります。

6 全体会 レポーター

- ① 岩澤一郎氏（宮城・中）子どもたちの安全・学習権・学力の保障を考える
- ② 長内康平（岩手・高）授業のデジタル化をめぐる

8 参加費 なし

参加希望の連絡は特に必要ありません。

9 その他

新型コロナウイルス感染予防のために次のことにご協力をお願いいたします。

- ① 毎朝検温をしていることですが、平熱を超える場合(37度を目安とします)の参加はご遠慮ください。
- ② 1週間以内に体調を崩している場合には参加をご遠慮ください。
- ③ 参加の際にはマスクの着用・手指の消毒をお願いいたします。

10 問い合わせ先

東北地区数学教育協議会

岩手大会事務局 宮 本 次 郎 TEL・fax 0191-234-0256 E-mail [jiro.miyamoto@nifty.com](mailto:jiro.miyamoto@nifty.com)